

総合体育館建設基本計画策定委員会意見を踏まえた新体育館及び各室の考え方

	総合体育館建設基本計画策定委員会意見	新体育館の整備方針
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> 何を優先するのかを問われたが、基本的には市民が楽しく利用できる施設を目指してほしい。市民が楽しく利用できることを優先いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 委員会意見や市民ニーズ等を踏まえ、「多くの市民に利用され、誰もがスポーツなどを楽しめる持続的な体育館」をコンセプトとし、日常的に市民にとって使い勝手の良い体育館を目指す。 国スポ等の大会時には、体育館のスペックをフルに使い、選手や観客、地域にとって国スポ等の大会の効果を最大限に発揮できる運用・工夫を行う。
コミュニティプールとの空間シェア、機能分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティプールの上にも、トレーニングルームがありこれの活用も合わせて検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティプールの諸室の状況を踏まえて、コミュニティプールか体育館に集約可能な機能については集約を行う。 重複する機能についても、コミュニティプールと体育館にそれぞれ配置すべきものについては、配置を行う。ただし、過剰整備とならないよう留意する。



競技場イメージ

室名称	総合体育館建設基本計画策定委員会意見	新体育館での室の整備方針	新体育館の面積 (対現体育館)
競技場	<ul style="list-style-type: none"> ソフトテニスコートを3面確保し、コート間の距離を最低3m以上確保されたい。 バスケットコートのエンドラインからの距離を現状より1m～1.5m程度拡張されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の利用状況を踏まえ、整備コートについては概ね同程度とする。 ソフトテニスコートを3面確保し、コート間の距離を3m確保する。 バスケットボールコート2面が確保可能な面積とし、バスケットボールのエンドラインから壁面までの距離を3.5m程度確保する。(現状：約2m、大会基準：2m) 	同程度
サブ競技場	<ul style="list-style-type: none"> バドミントンや球技を行うことができる天井高を確保されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> バドミントンの大会運営規定を満たす規定12m以上のバドミントンコート1面を確保する。 コミュニティプール内の多目的室でバドミントンコートが1面確保されている。市民利用のバドミントンについては、競技場で不足がある場合、多目的室を利用するように誘導する。(バドミントン以外のヨガや子どもの運動プログラムも同様の運用とする) 	縮小
トレーニングルーム (コミュニティプールのトレーニングルーム廃止)	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティプールの上にも、トレーニングルームがありこれの活用も合わせて検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 高い利用ニーズが見込まれるため、現状より拡張する。 コミュニティプール内のトレーニングルームは当初会議室としての利用を想定して設計された室を使用しており、狭小なため、新体育館に集約する。 	拡張
剣道場(武道場)	<ul style="list-style-type: none"> 縮小については問題ないか。 多目的利用が可能な仕様とされたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 現体育館の使用者にヒアリングを行い、1面で足りるとの見解。 多目的利用については、コミュニティプール内の多目的室の利用を促す運用とする。 柔道場は畳、剣道場は板張りの設えとする。 柔道場及び剣道場に観客席を設ける。 	縮小
観覧席	<ul style="list-style-type: none"> 他の国体誘致施設を参考に、必要客席数を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> コンセプトを踏まえ、現状1500席より縮小とする。 確保する席数については、国体時の動員と現体育館の日常時の観覧席の利用状況を鑑み、1,000席(立見席含む)を確保する。 また、観覧席周辺にランニングコースを確保し、館内でのウォーミングアップが可能な設えとする。 	縮小
会議室・ミーティングルーム		<ul style="list-style-type: none"> 利用頻度が低く、またコミュニティプールの会議室(現：トレーニングルーム)の活用を行うことも踏まえ、必要最低限の面積とする。 	縮小
子供保遊室 →授乳室機能を付加し、キッズスペースとして整備	<ul style="list-style-type: none"> 現状の半分程度の面積で充足可能ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在は、低未利用になっており、ほとんど利用が見受けられないものの、新体育館では市民利用の促進をコンセプトの趣旨としており、子育て世帯も利用しやすい体育館とするため、スポーツなどを行う際に、子どもが過ごす部屋を確保する。(体育館から見える場所に設置するなど、配置の工夫を行い、競技大会時には多目的な室として活用) 	同程度
健康相談室 →救護室として整備	<ul style="list-style-type: none"> 現状の半分程度の面積で充足可能ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在はほとんど荷物置き(必要に応じて授乳室として利用)となっており、「健康相談室」としての機能は廃止する。 「救護室」として、ケガ等に対応できる室として整備する。 	同程度